

新たな「交流」の創出

「賑わいのあるまちづくり」

賑わいと活気にあふれるまちづくりを進めていくためには、さまざまな「交流」を活発にしていけることが大切です。また、観光が大事な産業のひとつである長崎県にとって、「交流」は重要なキーワードでもあります。今回の県政探訪では、「交流」を生み出すために県が進める取り組みについてご紹介します。

県外との「交流」

「長崎自動車道延伸・ながさき出島道路完成」

長崎市から佐賀、福岡の各県を横断し、大分市に至る九州横断自動車道。長崎自動車道と大分自動車道からなる、全長約260kmの高速道路です。

3月27日、長崎自動車道の長崎多良見インター～長崎インター間と、それに直結するながさき出島道路が同時に開通し、高速道路から長崎市都心部へ直接乗り入れることができるようになります。

これにより、長崎～佐世保間の所要時間が短縮されるだけでなく、九州各地との交通が格段に便利になり、観光や物産など県内産業の振興に大きな効果が期待されています。



長崎自動車道 長崎インター(イメージ図)



ながさき出島道路の長崎市中心部側出口(イメージ図)

地域間の「交流」

「県内2時間交通圏」をめざして

県では、県内の各地域を結ぶ自動車専用道路など、高規格道路の整備を進めています。それとあわせて、県民の皆さんが日々の生活の中で利用する幹線道路の整備も進め、県全体がバランス良く発展するよう取り組んでいます。

また、長崎県には離島や半島も多いため、空港や港など交通拠点につながる道路や、離島と本土を結ぶ橋などの整備にも力を入れています。

具体的には、県内の二大都市である長崎市と佐世保市の間を1時間、周辺市町村から生活圏中心城市までを1時間で結ぶ、県内2時間交通圏「をめざして、道路の整備を進めています。」

こうした道路網の整備により、これまで遠く感じていた地域が近くなり、地域と地域の交流が、ますます活発になります。



島原道路(愛野島原線)



第二西海橋(イメージ図)

県内道路網の整備

